

○9番(須藤信吉君) 皆さん、改めておはようございます。本日は雨の中、傍聴にお越しいただきまして、まことにありがとうございます。きょうは一般質問ということで、また町長も再任をされて、トップバッターとして私にとっては名誉なトップバッターをやらせてもらったかなと思っております。

それで、本題に入る前に、きょうの茨城新聞で目に入ったのが、橋本町長の再選の記事が入っています。それを一部紹介させていただいて、本題に入りたいと思います。1期4年間、仕事できたのも皆様のおかげ。今後4年間もしっかりと境町のために初心を忘れず、身を粉にして働いてまいりたいと抱負を語っておられました。町長におかれましては、体を十分に注意されて働いていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、本題に入りたいと思います。本日1番目の質問者となりました議席番号9番、須藤信吉でございます。また、傍聴者の皆様におかれましては、早朝より足をお運びいただきまして、まことにありがとうございます。議長のお許しを得ましたので、通告に基づき(1)、区域指定についての①、区域指定(平成21年度時)の案の見直しの考えはありますか。

(2)、雨水排水整備事業について、①、市街地の都市下水路の接続に資することの進捗状況について。②、上小橋5差路付近の冠水対策について、これ調整池等も報道されていますので、それについての説明をお願いしたいと思います。

以上、2項目3点を質問させていただきます。執行部の誠意ある答弁をお願いいたします。

答弁に入る前に、皆さんのお手元に配付されました資料で、(1)、(2)、これは審議の都合上、2番と1番を入れかえて答弁させていただきますので、議長のほうにも報告してありますので、そのように進めたいと思います。

○議長(倉持 功君) それでは、1、2とありますけれども、回答の内容の関係で2番を先に、1番を後からということで質問をさせていただければと思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。

それでは最初に、雨水排水整備事業の質問に対する答弁を求めます。

建設農政部長。

[建設農政部長 小藺江 実君登壇]

○建設農政部長(小藺江 実君) 改めまして、皆さんおはようございます。それでは、雨水排水整備事業についての1点目、市街地の都市下水路に接続する工事の進捗状況はとのご質問にお答えいたします。

市街地の都市下水路に接続する雨水排水計画につきましては、昨年11月にバイパス管布設にかかわる実施設計を、12月に地質調査業務を発注し、現在鋭意業務を進めており、年度内にはこれらの業務が終了する予定となっております。工事につきましては、平成30年度から一方通行のきむら美容室前交差点から都市下水路に到達する区間の推進工事を行うこととしており、平成32年度の完成を目標に整備を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

次に、2点目、上小橋5差路付近の冠水対策について（調整池等）とのご質問にお答えいたします。上小橋5差路付近の冠水対策につきましては、平成29年第3回定例会でも答弁をさせていただいておりますが、5差路北側に調整池を設置する予定としております。今後策定いたします立地適正化計画において、住宅等の誘導区域を設定し、交付金を活用して平成34年度の完成を目標に整備を進めてまいりたいと考えております。

また、5差路の冠水対策といたしまして、路面の補修やボックスの改修等、境工事事務所と協議を行っていくこととしておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） 町の中の冠水問題と上小橋5差路の冠水の問題、これは大きなテーマということで執行部からも聞いております。そのものが境町の広報に開示されまして、その後について住民がその辺の進捗状況を聞いていただきたいと。その後の内容がもし一般質問の中において質問をして、答弁に対して誠意ある答弁をいただければと思い質問項目に入れました。

この冠水04という、町のこれは10月号かな、10月の中においてゲリラ豪雨に負けない冠水被害ゼロを目指してという項目で発表されました。それで、この中において冠水時の市街地エリア、上小橋エリア、この2つのものがテーマとして挙がっております。これについてもバイパス管と調整池、2つの冠水対策ということであってありまして、その中において平成27年9月に発生した関東・東北豪雨から2年間経過した。町が多くの被害を受けたことは記憶に新しいものと思います。その特集に紹介しているとおりに、防災時に向けさまざまな対策を実施してきましたが、冠水対策についても2つの対策を柱とする基本計画を認定していると思います。このものについて住民も非常に興味を持っていて、長らく、私が議員になったときからもこの染谷川の冠水におかれまして、あの付近の人たちは何とかならないかなど。そのものが今回大きく広報に発表されまして、そのものをこれであれば相当な緩和がされるかなと思っております、今回のテーマに挙げさせてもらいました。

これについての進捗状況がどの辺まで来ているのか、当然今後にはバイパス管の設置、これは4億円と書いてあります。平成30年度に完成予定であると。それから、平成34年度完成予定で調整池の設置、これが6億円と提示されています。これに対しての国の補助金をそれぞれ5割活用させる予定と書いてあります。これも冠水ゼロを目指して住みやすい町づくりに取り組んでいるというものだと思います。これについて執行部からの現在の状況を聞かせていただければと思います。

○議長（倉持 功君） 先ほど建設農政部長からの答弁が現在の状況ということですがけれども、何かつけ加えてのあれば。

○9番（須藤信吉君） それで、このものについて冠水が効果としてどのくらいのものが足りるか。今打ち合わせでしょうから、ある程度のものであるのであればその辺の数字を出していただければと思いますので、お願いいたします。

○議長（倉持 功君） 見込まれる効果についてということですが、建設農政部長。

○建設農政部長（小藺江 実君） それでは、須藤議員さんの再質問にお答えいたします。

今回の下水道の実施設計に当たりましては、平成27年の関東・東北豪雨の被災を踏まえ、昨年度現地に当たりまして実際に冠水した高さ等を当たりながら、それに耐え得る管渠の断面のほうを検討させていただいて、実施設計をしているというような状況になっておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

○議長（倉持 功君） 補足で、町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） 皆さん、おはようございます。須藤議員さんのご質問にお答えをしますが、今までもう皆さんにご説明をさせてきていただいたとおり、関東・東北豪雨以降、もう何とかしなければならないというのは執行部も議会も一緒だということで、雨水排水計画というものを2年かけて、お金をかけてつくりました。その結果がこういうことですよということで、全協でも報告をさせていただいて、そして町としてはこの2つの政策をやれば随分緩和されるということでやりましょうということで、議会の皆さんからも、こんなに早くこういった政策を打ち出していただけるとは思えなかったということで、我々はそれで着手で、もう工事に入るとということで、まず例えば簡単に言えば、学校の前の道路をつくるのにも測量をやって、設計をやって、発注するのに大体3年から4年かかるわけです。静小学校の今回完成した道路なんか3年から4年かかっているわけです。それをこの設計からこれだけの大事業を、例えばバイパス管についてももう3年ぐらいで仕上げたい、4年ぐらいで仕上げたいとやっているわけで、多分32年だと2年ですよ。2年で仕上げたいとやっているわけです。

町は最大限の努力をして、やはり住んでいる人たちが早く冠水を何とかしてほしい、ゲリラ豪雨のときに不安だから何とかしてほしいという思いで、我々は真摯に受けとめてしっかり予算をつけてやろうと言っているときに、逆にその議員さんの質問の意図がわからない。進捗状況もずっと今説明をしてきましたし、今も説明したとおりです。非常に速いスピードで町はすごく努力をして、予算についても県とかけ合ったり、国とかけ合って全部つけてきていただいているわけです。にもかかわらず、今聞きたい意図がわからない。町はもう精いっぱい努力をしておるものですから、これ以上努力をしろという話をされているのか。今の計画ではまずいという話をされているのか。

やはりしっかりと議員さんが、今も我々はずっと説明してきているわけですから、議員さんが住民から聞かれたときには説明できるわけです。だから、説明はしっかりしていただいて、なおかつわからない部分だったり、もしくは住民にもっと知らせなくてはならない部分をこういうところが知らせたいので、はっきり答弁いただきたいというのならわかるけれども、今町としては精いっぱい最大限、そしてお金もかかるけれども、しっかりやらなくてはならないということで、そして地域の例えば上小橋だけではないです。陽光台への北のほうの人たちはもう引っ越したいけれども、売れないと、そういうような状況の中で何とかしなくてはならないという思いで、町も全力を挙げてやっている事業でありますので、何を聞

きたいのかというのをはっきりとやはり明確に言っていただけると、我々ありがたいなと思いますので、その辺ちょっとよろしくお願ひしたいと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） 今町長の答弁についてあれですけども、今現在5差路、その周りの雨水に対しての不安感がありまして、私もこの広報を見たときに、このようなものが私が議員になってから染谷川についてはいろいろ質問させてもらいました。でも、こうやりますということで、対応をとっています、とられましたけれども、なかなか冠水対策がとれないと。この問題が上がりまして、うちの住民のほうから、この対策については大体雨量に対してどのくらいの雨量で見込まれているのかなど。あと、実績の中において、この辺のものであればカバーできるという、そういう計画の段階での数字があるのであれば教えていただきたいと思います。

○議長（倉持 功君） 町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） 須藤議員さんのご質問にお答えしますけれども、今の状況おわかりですよ。わかっている上で、例えば今場所がまだ決まっていないわけです。場所も決まっていない。どこにつくるかまだ決まっていない。しかし、町はこれだけかかるけれども、やるということを決めた。これから詳細設計に入って、場所の選定をして、議員さんとともに、場所もここでどうだろうという提案をして、それは買収をしなくてはならないかもしれない。借りられるかもしれない。それもやりながら、そしてどれくらいの雨量のものを最低限つくっていかなければならないという計画をこれから多分2年ぐらいかけてつくらなくてはならないわけです。そして、工事に入るわけです。

だから、今これからやるときに、それはどのくらいなのか、どのくらいなのかという、我々は皆さんにも説明しているとおおり、まず雨水排水のバイパス管のほうは早くできると。これはもう雨量も全部わかっているから、これをつくれば、この間の関東・東北豪雨ぐらいのゲリラ豪雨のときには随分緩和されると。町なかの例えば新吉町、山神町、それから坂花町、上町、上仲町、あのあたりの雨水については非常に緩和をされると。そして、設計についても容易であるということで、こちらから先に進めましょうと行って始めましたよね。上小橋については、これからやっていくわけです。にもかかわらず、どのくらいの雨量でどうで何ですかと、どこに設置するのですかと今聞かれても、我々どう答えたらいいのですかという、逆に。これはずっと一緒に話をしてきた話だから、わかっているはずですよ。

我々が言えるのは、関東・東北豪雨のあの豪雨災害、そして今起きているゲリラ豪雨災害、あれを何とかそういったときにもめめるような、きょうも原田さん来られておりますけれども、あの前なんかだつて、掃除もしなかったわけです。なぜか。幾ら掃除をしたって、土砂がまた堆積するから意味がないですよ、お金をかけても。でも、そうではないですよ。住んでいる人たちは、やっぱり少しでもいいからやってもらいたい。そういう思いで町も住民の皆さんと同じ思いでやっているときに、議員さんにも説明しているとおおり、今議員さん

に例えばこういう雨量でここに作りますよと説明がないとすれば、まだ町はそこができていないということです。ちゃんとつくったら、すぐいつも説明しているのですから。にもかかわらず、どういう雨量でどうだということを今我々に聞かれても、我々は関東・東北豪雨のような災害が起きたときに、何とか今よりも大丈夫なようにしたいと。そういうことで今やらせていただいているのが精いっぱいの答弁になってしまうのかなというふうに思います。

ですので、議員さんにはご理解いただきたいのは、先ほど言われたように、例えば30年来解決をしない課題です。それを今解決しようと思って、ようやく町としては決断をして始まっているわけです。ですので、やはり応援をしていただきたいし、宮戸川の橋もそうですよね。30年でできなかった。でも、今もう今年度、来年度にはできますよね。町はしっかりやっておりますので、できた段階で、そして基本計画ができた段階で、住民の皆さんにもちゃんと話はしていきますので、間違った計画をやっているときは幾らでも注意をしていただいて、そしてこれのほうがいいのではないかと行っていただいていいのだけれども、我々これからつくるときに、どうなのですか、どうなのですかと言われても、そこはちょっと話の議論がかみ合わないのではないかなと。とにかく町はしっかりと住民の皆さんが安心して住めるような、それを目指してやるというのが我々は最大限の目標だと思っておりますし、我々も地域を歩いていますから、わかっていますから、もう話は。引っ越したい、土地を探してくれませんか、という話まで来ているわけですから、陽光台の皆さんからも。だから、やっぱりしっかりと応えていくというのが町の姿勢でありますので、姿勢を見ていただいて、その計画はどうなのだとしたら、普通の雨で意味がないようなそんな用水池をつくるような発想はないですから、だからしっかりやっついこうと思っているときに、そういったことは町はしっかりやっているから、それならまだ時間はかかるけれどもというのを言っただけだと、我々も助かるなということで、そういったところでご理解のほどをいただければなというふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） 先ほどから町長の答弁に対して、私のほうの質問の仕方が悪かったのか。住民の方が、やっとこの広報に載せていただいて、今後安心できると。一応あそこに住宅をつくりたいとか、あとほかの人もこういう対策をとってくれるのであれば、こっちに来ようかなと、町の中でも、そういう人もいるわけです。だから、その辺に対しての、ここに完成年度とありましたので、その辺の雨量に対してはどうなのかなと聞かれましたので、その辺のものを質問させていただきましたけれども、町が確かにもう30年間いろんな染谷川についての対策については確認しました。だけれども、一向によくならないと。でも、今度はこの広報においてゲリラ豪雨に負けない冠水被害ゼロという言葉に皆さんが飛びついたというか、これは頼りにできるよというもので、私のところにも何人かが来ました。その辺のものが年度的にこの完成予定というのかな、その辺も大体この辺で目安で大丈夫です

かと聞かれましたので、それについても誠意町も努力してやっているだろうと、そういうことでもしこれに対して町長側の答弁にもあるかと思うのですけれども、地域住民の上小橋住民の話もまとめて今回質問ということでさせていただいていますので、その辺もご了解いただきたいなと思っています。

○議長（倉持 功君） 町長，橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） 須藤議員さんのご質問にお答えしますけれども、もう何回も議員さんにもご説明している。そして、議員さんもお承知のとおり、例えば、申しわけないけれども、僕がやっているから財源は確保してきます、本当の話。財源がないからできないわけですよね。この目標は目標であって、普通だったら10年かかるやつですよと、それを我々はこれだけ早くやりたいという目標で掲げていますよというのは何回も説明しているわけです。

だから、住民から聞かれたときには、これはもう今までできなかったものと、しかし今ふるさと納税とかいろいろなものと、そして国の補助金とかで何とか町はやろうとしている。なので、これは努力目標であって、もしかすると2年ぐらい延びるかもしれない。でも、このぐらいの目標でやるということで決断をしたということは、町としては大きいことなのですよと、そういう説明をしていただけると我々ありがたい。でないと、いつできるのですか、いつなら大丈夫なのですか、それは本当に行政なのですかって、本当の話。やるという決断をしたということと、目標をつけてここまでには何とかしたいという目標を掲げたこと、これは僕は重要なことなのではないですかと。ですから、2年かけてつくった雨水排水計画、多分関東・東北豪雨がなかったらつくっていないですよ。関東・東北豪雨があって、雨水排水計画を2年かけてつくって、できてすぐに議員さんにお示しを示して、その後議員さんに示した後に我々は広報紙に出したわけです。ですから、僕らが説明しているわけですから、もし聞かれたときには、回答はできたはずですよ、本当の話。だから、やっぱりそういった部分で行政を応援していただけるとありがたいと僕は思いますし、今言った話です。お金がかかるわけです。6億円もしくは10億かかるかもしれない。その当時のその建設資材によっては。その財源をどうするのですか。僕は、自分ではこれとこれやってみようと考えています。だから、そこはやっぱり議員さんとともに一緒に財源を考えるとところではないですか。お金があれば、例えば今すぐ10億円あればすぐできます。今すぐ20億円あればできます。でも、それを何とかしていくのが我々の仕事だし、そしてそれを最大限、極力短い時間でつくりたいというのが我々の思いだし、それをやっぱり説明していただくのが、議員さんとかのお仕事ではないのかなと。しっかり話をさせていただかないと、お金がかかるのですから。この境町、借金の比率でこの県でもワーストワン。まだですよ。僕が就任したとき180、今回126になるけれども、全国平均からしたらまだまだ借金の比率が高い。まだまだ減らさなくてはならない。しかし、やらなければならない事業だといって僕らは10億円投資しなくてはならないという思いでやるわけです。その財源はどこから持ってくるのですか。それも説明はしてあるはずですよ。

ですから、今こういったふるさと納税という制度もあるうちに稼がなければならない。そ

して、あるうちにそれを基金にしなければならない。僕らは教育、子育て支援の次にすぐやらなければならないのは冠水だと思って、ことしの来年度からの予算の中でその中でしっかりとふるさと納税や企業版やいろんなもので稼いだものは基金としてこういったものに使いたい、そういう思いは説明をさせていただいているところでありますので、やはりこれだけ莫大なお金を投じてやるということを町は決断したわけですから、それを応援する立場でぜひいていただきたいというのが我々の思いでありますので、普通ならできないことだという話をしっかりしていただきたいというふうに僕は思います。

ですので、回答になっているか、なっていないかわからないですけれども、財源の話も期間の話もずっと説明はしてきているわけですから、住民の皆さんから聞かれたときには、そういう話をきっちりしていただければありがたいのかなと。まだまだ財政的には苦しいですから、境町。その中でこれだけの事業をやっているということを毎回予算で説明しておりますけれども、ご理解をいただくというのがやはり、そして住民の皆さんに一番身近な議員さんが説明をしていただく、これがやはり行政運営が両輪一体となって進むものではないのかなと私は思っているものですから、ぜひいい方向に進むように我々を応援していただき、そして皆さんとともに解決をしていきたい。そして、緊急にやらなければならない課題だというふうに我々は思っているわけですから、もし間違ったときにはそういうところを視点をちゃんと指摘していただきたい、そういうふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） 項目2から1に変更して雨水排水路のことについては十分わかりましたので、住民との懇親会においても町長答弁があったようなものを説明をして、精いっぱいやっているとこの努力をしていますということで話をし、今回の1項目めについてはこれで質問を終わります。

○議長（倉持 功君） これで雨水排水整備事業についての質問を終わります。

次に、区域指定についての質問に対する答弁を求めます。

建設農政部長。

〔建設農政部長 小藺江 実君登壇〕

○建設農政部長（小藺江 実君） それでは、須藤議員の2項目め、区域指定についての区域指定（平成21年度時）案の見直しの考えはあるのかとのご質問にお答えいたします。

区域指定につきましては、市街化調整区域内における既存集落の維持保全を目的に、住宅や一定の小規模な店舗の立地を許可する区域を指定するものであります。当町におきましては、平成21年12月に主に長井戸地区から成る約206ヘクタールを定めており、その指定に当たっては、町の総合計画や都市計画マスタープランとの整合を図りつつ、建築物の集落性、宅地率、下水道等の公共施設の整備状況、保全すべき農用地の有無、災害のおそれのある区域の有無等について調査し、指定すべきエリアを選定してございます。現在当町におきまし

ては、1項目でもご答弁させていただきましたが、下水道整備や雨水排水整備事業を優先的に進めることとしており、現段階におきまして区域指定を見直す考えがございませんので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） 区域指定においても項目2のものに関連をしていると思います。冠水、公共下水の整備が整備をされて初めて区域指定の中に入ってくるということで、今回質問させていただきましたのは、この辺の整備がされたときには、方向で来れば、この区域指定の範囲も考えてもらえるのかなと。というのは、ちょうど私の周りのところは住宅をつくりたいと、結構いるのですけれども、町の中から。あとは地元の人もここにうちをつくるのは難しいと、それで諦めている人もおります。その辺において、今度は公共下水の整備、あとは松上線の開通、環境的にはよくなってきているのかなと。その辺も考慮して、その区域指定の前回上げた20年度時に掲げられた区域の見直しができるのかな、考えられるかなということで質問をさせてもらいました。それについて答弁を願います。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、須藤議員さんのご質問にお答えします。

現時点では考えていないという話をさせていただきました。やらないとは言っておりませんが、なぜならばやはり1つは、都市計画マスタープランだとか、それから総合計画、そういったものをしっかり上位計画でどうするかという都市の、要は今須藤議員さんは上小橋の話をしておりますけれども、やはり町としては全体を見てどうするか。先ほど言ったように、町なかから引っ越してきているという話をされましたが、実際に今町なかはまだ大変空き家が多くなってきたり、いろんな状況があるわけです。なので、やはりそういう上位計画の中で議員さん方とともに町をどうしていくか、市街地をどうしていくか、そういう大きな視点でひとつ見ていただきたいというのがまず1つです。上小橋をやらないとか、そういうわけではないです。

ですので、まずは大きな視点で見ていただいて、市街化をどこにして、そして区域のエリアを広げるか、そういったことを考えていただきたい。そして、今小さな上小橋の話に行きますと、上小橋の視点としては、今まで下水道も入っていなかったわけです。就任をして皆さんから要望をいただいて、例えば75%以上の方が入ることだったら整備しますよということで始まって、決断をして、今回猿島幹線と言われる幹線沿いのところは拡大をしたわけですので、その拡大のまだ今工事をやっているところです。

ですので、それが終わって、どうしていくのだという上位計画との整合性というのならばわかるけれども、それもせずに、いや、そのうち区域指定で家が建つようになるから、ここをやってくれというと、先ほどの冠水の問題に逆戻りをして、いや、買ったはいいいけれども、すごい冠水なのだとか、土地は安くていいと思って来たのだけれども、全然もう水がひどく

ていけないよとか、そんなことになってしまうわけです。今現状そうでしたよね、今現状。例えば原田さんのうちの周りのところだって、いいかなと思って新しく来たら、実は実際はああだった。今の長井戸もそうです。長井戸のあのちょうど一休だんごの裏のほうの自動車学校よりももっと北のちょうど地域ですけれども、あそこなんかだってみんな新しい家が建ちました。でも、いいかなと思って建てたら、今度は逆にもう腰までつかってしまうわけです。

だから、やっぱりしっかりと皆さんとともに総合計画、そして都市マスの中でどういう区域を設けていくか、どういうところを市街化にしていくか、しっかりそういったことを考えながらやらないと、人口減少の社会でありますので、広げたはいいけれども、ばたばたできてしまって、その後やっぱり水害でひどくなってしまったとか、対応ができなくなってしまうので、やっぱりそういった広い視野に見た中でどうしていくかというのを皆さんとともに考えて、その中で上小橋エリアが例えば冠水も大丈夫になって、そして下水も全部整備されて、非常にもう市街化とくっつけて大体大丈夫ではないかと。そういう時点になってのご質問であれば、話は別だと思うのですが、今現時点ではまだこれからやるところでありますので、そういったところでご理解いただければありがたいのかなというふうには思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） 今の町長の答弁をいただきまして、内容的には十分理解をされます。今環境のあそこは上小橋と長井戸、あとは人気があるのが土地的には松岡町のいい土地を探している人が多いと。その辺もありまして、私の友達からも、境町はいろいろなことをやっている。広報を見たりして、こっちに越していきたいという人も何人かいるわけです。自分の持ち家でやりたいという人もいますし、だからその辺の観点から今度は冠水対策、公共下水道を整備されるというもので、当然うちをつくるのであれば3年、4年かかると思われます。その辺のものにも考えをまとめていただければと思って今回は質問させていただきました。

今町長の答弁において、全体で考えていると。区域指定もやらないわけではないと。その辺も考慮してやるということなので、今後もその区域指定においては検討していただいて、いろんな環境整備が整った時点においては、今上小橋ばかりではなくて、長井戸と、あとは西泉田あたりも住宅的には適しているという声も聞きますので、その辺も考慮して進めていただきたいなと思います。

○議長（倉持 功君） 町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、須藤議員さんのご質問にお答えしますけれども、もう一度お願ひしたいのは、やはりマクロの視点ではなく、大きな視点でお願ひをしたいと。僕も今回全地域見させていただきましたけれども、非常にそういうマクロの話ではなくて、やっぱり今求められているのは、議員さんもお承知のとおり、例えば新しく家を建てるのにはた

だ土地があるからとか、そういうことではなくて、本当ならば、例えば今PFIの戸建てなんかもこれから研究していこうという話を議会でもさせていただいておりますけれども、陽光台のような街区をきっちり整備をして、きっちり整備してこういうところがありますよと、そういった形も考えていかなければ、今実際にこの人口減少の中で、今は野木町のすごい住宅街がきれいでいいという話が出ております。ですので、マクロの、隣の例えば行政区からこっちへ引っ越してくるとか、そういったことよりも、大きな視点に立って、この町をどうしていくのだということと、人口がどうなっているのだということと、しっかりそういった部分を見た上でいろんな計画を立てていかないと、その場その場のところでは町というのはよくなっていきませんので、ぜひそういったところは我々も研究していきますので、議員さんのほうもぜひいろいろな視点に立っていただいて、空き家問題なんていうのは非常に最たるものですから。非常に多いです、400を超える空き家があるわけですから。やっぱりそういうのをどうするのだ。やっぱりただ広げて、ただそこに家が建つようになったからいいかという、そうではない一方がありますので、そういったところをやっぱりしっかり見ていただいて、両方の視点でいろんな提案をしていただけると町としてはありがたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

須藤信吉君。

○9番（須藤信吉君） 今回の質問において、項目1、2については私の多少の勉強不足、あとは住民との会話もありまして、この辺においても冠水対策、あとはそれにおいては一番の重点項目ということで町長も掲げていますので、この辺も前向きに検討していただいて、住みやすい町づくりをやっていただきたいと思ひますので、質問はこれで終わります。ありがとうございました。

○議長（倉持 功君） これで須藤信吉君の一般質問を終わります。